

『第45回日本創傷治癒学会』開催のお知らせ

東邦大学大学院医学研究科 先端医科学研究センター 赤坂 喜清
組織修復・病態制御学部門

このたび日本創傷治癒学会理事会ならびに評議員会、総会のご推薦とご承認を頂き、第45回日本創傷治癒学会を主宰させて頂く運びになりました。非常に長い歴史と実績を持ちます本学会を東京で開催させて頂けることを大変に光栄に存じております。会場は交通要所の東京駅に直結したJPタワー ホール&カンファレンスで平成27年11月30日から12月1日迄の2日間にわたり、学術集会・総会・シンポジウムを開催させて頂くこととし、鋭意準備を進めてまいりました。

昭和46年に設立された日本創傷治癒学会は今回で45回目にあたり、その長い開催歴から世界で古い創傷治癒学の学術集会として注目されています。本学会の理念は設立当初から臨床医学研究者、基礎医学研究者や看護学研究者が横断的に集い、高いアカデミズムに裏付けられた基礎的研究成果を、臨床医が直面する問題点と包括的に検討することで、新たな治療法創生による臨床的応用の確立を目指してきました。

昨今の医療技術進歩により『創傷治癒』を取り巻く環境は急速に進歩し、基礎医学で解明された新知見が新たな医療法創生に直結する時代となってきました。『創傷治癒』は侵襲組織の治癒過程を解明する学問であり、癒痕で置換される修復(repair)と同一組織による再生(regeneration)という二つの過程から成り立ちます。従来から組織修復に関連した一連のメカニズムが詳細に解析され、その結果は臨床医学の発展に貢献してきましたが、組織再生は長年暗闇のベールに包まれて解明されませんでした。今後の新たな創傷治癒学による治療法創生には侵襲後の組織再生のメカニズムを解明する必要があります。

このような状況を踏まえて、本学会のテーマを『新創傷治癒学—創生・展開・未来』と設定しました。ノーベル医学賞を受賞した京都大学山中教授が開発したiPS細胞による我が国独自の再生医療が世界から注目されております。よって、我が国独自の再生医療の最新知見や創傷治癒における方向性を学会員の方々にお知らせするため、『再生医療のUpdate』のセッションを設けました。また、国民高齢化による動脈硬化が原因の血流障害に対する新しい治療法がコメディカルの方々の協力で実践されております。これらの新知見を学会員の方々と検討し、さらに発展させるため、『重症下肢虚血の治療戦略』のセッションを設けました。より良い創



NEWS
LETTER

日本創傷治癒学会
2015.1
No.85

●日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学

医学部形成外科学教室内

tel.03-3351-4774

fax.03-3352-1054

e-mail: info@jswh.com

URL: <http://www.jswh.com>

傷治療には医師のみならず、コメディカルの方々のチーム医療の実践が必要なのは明らかです。したがって、臨床医師のみならず創傷治療に関わる基礎医学者、看護師、理学療法士、作業療法士の参加による職種を超えた横断的な討議を企画し、有効な治療法を前向きに考える機会となれば望外の喜びです。

皆様のご参加をお待ちしております。



写真 学会が開催されるJPタワー ホール&カンファレンス

東京駅丸の内南口に直結するJPタワー（旧東京中央郵便局、写真左）の4階のホール&カンファレンスで行われる。JPタワーには有名な商業施設「KITTE」（写真右）が隣接し、有名な飲食店や物販店舗が軒を連ねる。

腹痛、腹部膨満感に

腹が冷えて痛み、腹部膨満感のあるもの

100

ダイケンチュウトウ
ツムラ大建中湯
エキス顆粒(医療用)

薬価基準収載



- 腸管通過障害に伴う腹痛、腹部膨満感に効果があります。^{1)~4)}
- 次の3つの機序による腸管運動亢進作用を示します。
 - 1) セロトニン3型、4型受容体を介するアセチルコリン遊離促進(イス、ラット、*in vitro*)^{5)~7)}
 - 2) 消化管運動亢進ホルモンであるモチリンの分泌促進(ヒト)⁸⁾
 - 3) 知覚神経におけるTRPV1チャンネルを介した作用(*in vitro*)⁹⁾
- CGRP、アドレノメデュリンを介して腸管(小腸、大腸)血流量を増加させます。(ラット)¹⁰⁾¹¹⁾
- アドレノメデュリンなどを介した抗炎症作用を示します。(マウス)¹²⁾
- 副作用発現頻度調査(2010年4月~2012年3月)において、3,284例中、64例(1.9%)72件に臨床検査値の異常を含む副作用が報告されました。(ラット)¹³⁾
- 重大な副作用は、間質性肺炎、肝機能障害、黄疸(いずれも頻度不明)です。

TRPV1 : transient receptor potential V1 CGRP : calcitonin gene-related peptide

効能又は効果

腹が冷えて痛み、腹部膨満感のあるもの

用法及び用量

通常、成人1日15.0gを2~3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

使用上の注意(全文記載)

1.慎重投与(次の患者には慎重に投与すること) 肝機能障害のある患者[肝機能障害が悪化するおそれがある。] 2.重要な基本的注意 (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。(2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。3.副作用 副作用発生状況の概要 副作用発現頻度調査(2010年4月~2012年3月)において、3,284例中、64例(1.9%)72件に臨床検査値の異常を含む副作用が報告された。(1)重大な副作用 1)間質性肺炎(頻度不明): 咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音の異常等があらわれた場合には、本剤の投与を中止し、速やかに胸部X線、胸部CT等の検査を実施するとともに副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。2)肝機能障害、黄疸(頻度不明): AST(GOT)、ALT(GPT)、ALP、 γ -GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。(2)その他の副作用

	頻度不明	0.1~5%未満	0.1%未満
過敏症 ^{注1)}			発疹、蕁麻疹等
肝臓	肝機能異常(AST(GOT)、ALT(GPT)、ALP、 γ -GTP等の上昇を含む)		
消化器	腹痛	悪心、下痢	腹部膨満、胃部不快感、嘔吐

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

4.高齢者への投与 一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。 5.妊婦、産婦、授乳婦等への投与 妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。 6.小児等への投与 小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]

*その他の詳細につきましては製品添付文書をご覧ください。

[文献] 1) Yoshikawa, K. et al. Surg Today. 2012, 42(7), p.646. 2) 壁島康郎ほか. 日消外会誌. 2005, 38(6), p.592. 3) 三木智雄ほか. Prog Med. 2000, 20(5), p.1110. 4) Horiuchi, A. et al. Gastroenterol. Res. 2010, 3(4), p.151. 5) Shibata, C. et al. Surgery. 1999, 126(5), p.918. 6) Satoh, K. et al. Dig. Dis. Sci. 2001, 46(2), p.250. 7) Tokita, Y. et al. J Pharmacol Sci. 2007, 104(4), p.303. 8) Nagano, T. et al. Peptide Science 1998, 1999, p.329. 9) 株式会社ツムラ社内資料 10) Kono, T. et al. J Surg Res. 2008, 150(1), p.78. 11) Kono, T. et al. J Gastroenterol. 2011, 46(10), p.1187. 12) Kono, T. et al. Journal of Crohn's and Colitis. 2010, 4(2), p.161. 13) 香取征典ほか. Prog Med. 2012, 32(9), p.1973.



株式会社 **ツムラ**

<http://www.tsumura.co.jp/>

●資料請求・お問い合わせは弊社MR、またはお客様相談窓口まで。Tel.0120-329-970

(2013年1月制作)

■使用上の注意等の改訂には十分ご留意下さい。 VO-1001